



みなさまには、平素より京都銀行をお引き立ていただき、まことにありがとうございます。

さて、平成29年度上半期のわが国経済は、海外経済の回復などを背景に輸出が好調に推移したほか、インバウンド消費をはじめ個人消費にも持ち直しの動きが加わり、全体としては緩やかに拡大する展開となりました。この間、企業部門では、成長分野での需要拡大で生産活動が堅調に推移したほか、業績好調を背景に、設備投資では人手不足を補うための省力化・自動化関連投資などが伸長しました。一方、個人消費は、根強い節約志向を残し

つつも、耐久財の買い替えや資産効果による高額品消費などが全体を底上げいたしました。期末にかけては、地政学リスクへの不安を伴いつつも、一段の拡大への期待感が高まる中で期を終えることとなりました。

また、地域金融機関を取り巻く環境を展望しますと、少子高齢化社会の進行や経済のグローバル化など社会・経済の構造が大きく変化する中、一段の金融緩和政策による運用利回りの低下や異業種からの参入など、今後も厳しさを増すものと思われま

す。このような環境のもと、当行では、第6次中期経営計画「Timely & Speedy」(平成29年度～31年度)をスタートさせました。計画策定にあたり、当行経営理念の「地域社会の繁栄に奉仕する」をもとに、お客さま目線より具体的に表現した「お客さまの期待に応える京都銀行」をありたい姿として再確認し、この実現に邁進してまいります。本計画では、「コンサルティング機能の発揮～つなげる～」をメインテーマに掲げ、お客さまのニーズや課題に対して、最適なタイミングとともにスピード感をもって解決策を提供してまいります。

そして、「広域型地方銀行」としての成長戦略を展開しつつ、お客さま本位の業務運営の徹底や事業性評価に基づく取引先企業の課題解決に努めるなど、グループをあげて質の高い金融サービスを提供することで地域経済の活性化に貢献するとともに、当行自らもなお一層の成長を期してまいります。

みなさまにおかれましては、今後とも格別のご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成29年11月

取締役頭取 **土井 伸宏**

目次

ごあいさつ	P.1	法人・個人事業主のお客さまへの取組み	P.9
第6次中期経営計画	P.2	トピックス	P.11
中間決算のご報告	P.3	株式の状況・ご案内	P.12
地域のみなさまとともに	P.5	店舗ネットワーク	P.13
個人のお客さまへの取組み	P.7	プロフィール	P.14